

ようやく学校再開

クラスを超えて元気に交流

— 2年生と5年生が仲良くさつまいもの苗を植えました
会染小学校 —



6月定例会

コロナ対策を中心に補正予算が成立

一般会計補正予算の目玉 P2~P3
予算審査 質疑の詳細 P4~P5
本会議での質疑・討論 陳情審議 P6
議案審査結果 一般質問一覧 P7
町政を質す! 一般質問6名が登壇 P7~P11
町民の皆さんに聞く 議会を傍聴して 裏表紙

新しい生活様式を取り入れましょう

「新しい生活様式」

- ① 一人ひとりの基本的感染対策
- ② 日常生活を営む上での基本的な生活様式
- ③ 日常生活の各場面別の生活様式
- ④ 働き方の新しいスタイル



一般会計補正予算

コロナ対策を実施

学校のネットワーク学習環境を整備

● 6月定例会の概要

6月定例会は、6月9日から18日まで開かれた。承認11件、議案6件、発議2件を審議しすべて可決し、陳情1件を採択した。

コロナ対策で GIGA スクール 構想推進 8111万円

学校ネットワーク環境整備と学習用端末機購入(生徒児童633台、教員38台)

財源

(国)地方創生臨時交付金	3961万円
(国)公立学校情報通信補助金	3529万円
地方債	320万円
一般財源	301万円



GIGAスクール構想

弁当宅配業務 委託料 100万円

コロナ対策で休業している飲食業の支援事業「いけ弁」

財源

(国)地方創生臨時交付金	90万円
一般財源	10万円



飲食業支援「いけ弁」

一般の目玉事業

医療介護総合 確保基金事業 1100万円

陸郷豊盛公民館を改修する

財源

(県)医療介護総合確保基金事業補助金	891万円
陸郷自治会負担金	209万円



改修される陸郷の豊盛公民館

町独自 外国人留学生 生活支援事業 補助金 585万円

(令和2年度7月から3年3月)

留学生(65人)に通年1人月1万円補助する

財源

一般財源	585万円
(8割は国の特別交付税により措置される)	



日本アルプス国際学院留学生

国の臨時交付金と町財源で 子育て世帯・学生・事業所に補助、

主な目玉事業は∞ 新型コロナウイルス感染症対策事業

特別定額給付金

9億8460万円

国のコロナ対策で一人一律10万円給付する
(9776人分)

財源

(国)特別定額給付金事業費補助金ほか
9億8460万円



特別定額給付金

町独自

子育て世帯と 学生生活応援 給付金

1550万円

町独自で18歳までの子ども(1220人見込み)
と18歳から24歳までの学生(325人見込み)
に1人1万円給付する

財源

(国)地方創生臨時交付金 1395万円
一般財源 155万円



子育て世帯への 臨時給付金

1191万円

児童手当を受給する世帯に1人1万円給付する

財源

国庫補助金 1191万円

感染拡大防止 体制支援事業

115万円

消毒液を町内医療機関、介護事業所、住民に配
布する

財源

(国)地方創生臨時交付金 103万円
一般財源 12万円



新型コロナ ウイルス経済 対策事業 (商工)

5099万円

県・市町村連携コロナ拡大防止協力企業支援
500万円

町中小企業経済対策支援 4200万円

県・町制度資金利子補給 80万円

中小企業振興資金保証料補給 300万円

事業委託料 19万円

財源

(国)地方創生臨時交付金 3688万円
一般財源 1411万円



ここが
聞きたい

予算審査

質疑

令和2年度の補正予算について予算決算特別委員会で審議しました。
抜粋して審議内容をお知らせします。

一般会計補正予算

地域おこし協力隊員の起業支援

問 地域おこし協力隊員の起業支援の具体的な内容は。

答 ハーブ関係の事業を起業すると聞いている。

コミュニティ助成事業助成金の整備事業の内容

問 コミュニティ助成事業助成金で、鶴山地区と中島地区の整備事業の内容は。

答 コミュニティ助成事業として、鶴山地区は、納涼夏祭りの備品整備事業費220万円で、子ども神輿、たこ焼き器、



プータンの留学生

放送器具等の購入である。中島地区は自主防災会活動整備事業で防災備品として、AEDや発電機、照明などの整備で200万円の助成金となっている。

外国人留学生生活支援補助金

問 助成金は留学生の口座に振り込まれるのか。また、国民健康保険税等を滞納している留学生については滞納額を差し引いて給付するのか。

答 支給方法は原則口座振り込みである。滞納がある場合はいったん現金で支給し、その場で滞納金を納めていただく。

消防団の長靴

問 非常備消防経費の消防団の長靴について、購入を取りやめた理由は。

答 長靴は、ひざ下までしっかり力バーするもので、底が厚く、釘を踏み抜かないような形状になっている。コミュニティの助成金100万円で予定していたが、落選したため減額措置をした。

問 大会もなくなり予算がさまたまなところで削られてくるので、消防団の士気向上の意味を含め、秋をめどに購入してほしい。

答 確かに必需品である。改めて庁内で検討していきたい。

移住定住補助事業

問 移住定住補助事業で新たな移住は何件あるのか。

答 5月31日現在、新築7件である。

災害時の役場庁舎の電源

問 防災対策で、地上3mの洪水が来る場合を想定し、役場庁舎の電源を2階以上にあげる提案をしたが、その後検討されたか。

答 町業務は常時通電が必要なので、もう一つ高圧受電装置を設置し、つなぎ直す必要がある。設置に金額がかかるため、厳しい状況である。

池田小学校近くに「ゾーン30」設定

問 池田小学校の周辺の道路に「ゾーン30」を設定とのことだが、どのエリアか。

答 県道上生坂信濃松川停車場線以南で、今回整備されたあづみ病院から交流センターまでの2車線の道路および県道大町明科線の1丁目信号から3丁目信号までを囲んだエリア内の道路を時速30キロの制限地域とする。



ゾーン30

身体障害者の自動車改造事業補助金

問 昨年までは身体障害者の自動車改造事業補助金10万円があったが、復活はされないのか。

答 要望があれば、補正予算で対応していく予定である。

地域介護予防活動の活動予定

問 地域介護予防活動の活動が中止になっていると聞か、今後の活動予定は。

答 6月から新しい生活様式に沿って、町の健康教室も開催している。各地区でも注意しながら自主的に徐々に動き始めている。

花とハーブの里ブランディング推進事業の運営業務委託料

問 花とハーブの里ブランディング推進事業の運営業務委託料の内容は。

答 以前は地域おこし協力隊が行っていたが、4月30日で任期満了となり、一般の立場になった。引き続き事業を継続するにあたり、委託料という形で計上した。



いけ弁

「いけ弁」の見直し

問 観光協会のさまざまな事業が減っている中、新たに「いけ弁」がスタートした。100万円を専決補正したが、手ごたえと今後の見通しは。

答 交付金で充当し、今のところ賄えている。今後の運営については、手数料を充当し行っている。また、順次メニューをリニューアルしていく。飲食店も前向きにとらえている。

交通安全対策事業の施設修繕料

問 ガードレールの汚れが目立つ。クリーン化の考えはあるか。美しいまちづくりの一環としても

必要と考えるが。
答 沿道の除草作業等の中で実施していけるよう考える。

GIGAスクールの課題

問 GIGAスクール構想で、生徒児童にわたるパソコンの機種は県にならったものになるというが、教職員のパソコンや教材のハードの部分は、GIGA構想の中にも含まれるのか。

答 児童生徒の学習用端末としてのみが国庫補助対象となっている。

問 児童生徒用パソコンの機種が決まらない段階で、教職員のパソコンを更新すると、互換性が心配される。十分な検討を。

答 補正予算（第3号）のオンライン学習用端末購入費には、教職員パソコンが含まれている。機種は同一のものである。リースパソコンについてはもともと、教職員が授業や、職務上必要に応じた目的で使用している。GIGAスクール構想と分けて考えてほしい。

問 GIGAスクール構想で、各自がタブレットを持つことにより、今後パソコン室の必要性も問われるのでは。



教育用パソコン

よる学習体制が進む中、システムも様々なものが出てくると思われる。このタイミングでリースすることはかなりリスクがあるのではないかと。もう8か月待って、GIGAスクール構想でのパソコン導入の時期に合わせられないか。

答 平成29年にリースが切れている状態である。この3年間パソコン教室での授業もかなり古い機種で行ってきたこともあり、6月の補正予算で対応したい。

一モ ※GIGAスクール構想
児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様なことを公正に、個別に創造性を育む教育を目指し、全国の学校現場で持続的に実現する構想。5か年計画でスタートしたが、コロナウイルス感染症対策でリモート授業など需要が早まっている。

審議結果
意見 全員の賛成で可決
パソコンリース料について、オンライン教育との整合性などについて十分考慮し実施されたい。

要望 8月という時期が問題でもある。コロナウイルスの影響でパソコンの価格が急騰している。落ち着いてから納入できれば性能面に反映できるのでは。予算は認めたいが再度慎重な検討をお願いする。

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

問 特定保育型保育事業の対象者は。連携した事業がどのように行われているか。

答 あづみ病院内の「あづみつこ」と認可外保育施設の「おひさま」の2か所である。「おひさま」については連携がとれているが「あづみつこ」については確認する。

問 連携が確認されていない「あづみつこ」のような保育施設が5年から10年になることは必ずしも良いこととは思えないが。

答 柔軟に対応できるよう国の制度が改正されるわけで、「あづみつこ」については、現状を把握し、報告する。これは、特に首都圏で待機児童が解消されない中、自治体が把握をし、連携を取りながら受け皿を増やしていくための法改正と考え



認可外保育施設おひさま

る。池田町では待機児童がいらないこともあり、保育活動においての連携は行っているが、自治体としてそこを受け皿として行く状況にはない。

問 首都圏においては必要と思うが、池田町についてはそういう状況ではないと思うので、10年にするには賛成できない。

答 直接当町に当てはまらない部分があるが、条文の中に、著しく連携等が困難と認められる場合は、要件を緩和するということところを理解願いたい。

審議結果
賛成多数で可決

本会議での質疑・討論・陳情審議

(本会議質疑) 令和2年度一般会計補正予算

- 問** 非常に財政が厳しい中、財政調整基金は今年度3月時点でどのくらいになる見込みか。
- 答** 令和元年度の最終専決で1億6000万の取り崩しをせずに済んだ。残高は1億7000万と見込む。
- 問** 移住推進事業で当初予算1700万円、今回補正予算で1000万計上しているが、必要性が本当にあるのか。
- 答** 人口減少対策は重点課題であり、5月末で約1300万円住宅補助金申請がある。今後も申請増が見込まれる。

(本会議質疑)

特別定額給付金事業

- 問** 現在までの申請、給付状況は。
- 答** 6月18日時点で3638世帯の申請があり、90%の給付率である。

GIGAスクール構想の推進

- 問** オンライン端末、ネットワーク構築等進んでいるが、本格活用にはまだハードルが高いと思うが。
- 答** GIGAスクール構想を前倒して推進しており、国の方針等にも対応しながら、ICT支援に取り組んでいく。



児童1人に1台のPC端末でオンライン授業

プレミアム商品券利用実績

- 問** プレミアム商品券の最終的利用実績は。
- 答** 低所得者対象は、購入790名。利用率41%。子育て世代対象は、購入99名。利用率72%。

(本会議討論)

令和2年度一般会計補正予算

賛成です

矢口 稔議員

以前から懇願されていた、信州やまほいく保育料軽減事業補助金が制度化され、県補助と併せ実質無料となったこと。速度規制「ゾーン30」が導入され、通学路等の安全が確保されたこと。外国人留学生の生活支援補助事業が計上され、国際交流が促進されること。財政調整基金等、町の財政は危機的な状況にある。無駄を削減し、町長のリーダーシップの下、健全な財政運営を希望し賛成とします。



医療従事者

陳情審議

○陳情1号

●医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情書

意見

働き方改革が進んでいる中、医療関係者の働き方改革も進めていくべきで、特にコロナ禍医療従事者の不足、長時間労働の現状を踏まえれば、医師数を増やし、医師を育てる考えに賛成である。医師数不足はOECD調査によると、先進国で下から2番目の少なさ。税金を命と健康を守ることに使ってほしい。

【審査結果】 全員の賛成で採択

コロナ対策 要望書を提出!

議会から町へコロナ対策について要望書を提出しました

新型コロナウイルス感染症対策にかかる要望書

- 1 低所得者及び生活困窮者への支援を強化すること
- 2 雇用の確保と事業者の経営安定を図るため、引き続き中小企業等への支援を行っていくこと
- 3 地域経済の早期回復及び活性化に努めること

〈表紙の写真から〉

ようやく学校再開 クラスを超えて元気に交流

6月16日、長期休業後の中で会染小学校5年生34名と2年生44名により交流授業としてさつまいもの苗植えが行われました。梅雨の晴れ間に元気な子どもたちの声が響いていました。



主な議案の説明と 審査結果

6月定例会
提出案件

○…賛成 ●…反対

区分	件名	審査結果	松野亮子	大厩美秋	中山 眞	横澤はま	矢口 稔	矢口新平	大出美晴	和澤忠志	薄井孝彦	服部久子	那須博天	倉科栄司
承認(専決)	税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	控訴の提起について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度一般会計会計補正予算(第12号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度一般会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度一般会計補正予算(第2号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	令和2年度一般会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について(令和2年6月30日をもって東筑摩郡筑北保健衛生施設組合が脱退することを認め、長野県町村公平委員会共同設置規約の一部を変更)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について(特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部改正に伴う改正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
発議	令和2年度一般会計補正予算(第4号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

倉科議長は表決には加わりません

一口メモ

表決(可決・否決・同意など)…議会の意思決定(個々の議員が参加し、議題などに対して賛成、反対の意思表示する)

6 議員が ただ 町政を質す!

ここが聞きたい
6人が一般質問を行いました

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をともに、町長や教育長などの方針を問うものです。

今回は新型コロナウイルス感染防止対策のため、1人40分の制限時間内で質問しました。

質問者	質問事項
中山 眞 議員	・クラフトパークの管理及び運営について ・町長の第6次総合計画の取り組み姿勢、進捗について
横澤 はま 議員	・町の教育をどうするのか ・心身の健康を育む学校給食の対応について
大厩 美秋 議員	・町営バスがより利用しやすくなる取り組みについて
薄井 孝彦 議員	・令和3年度一般会計予算編成の考えについて ・新型コロナウイルス対策に対応した避難所対策について ・高瀬川の洪水対策について
服部 久子 議員	・新型コロナウイルス感染症の町の対策を聞く ・ごみ集積所の設置条件の改定を
矢口 稔 議員	・ピンチをチャンスに変える事業の推進について ・厳しい財政状況を改善する施策について



クラフトパーク管理
運営について

中山 眞 議員

問 クラフトパーク敷地内森林エリアの一部が雑木林となっている。児童が植栽した桜の木数十本が成長を阻害されている。どういった管理をしているのか。

答 6月補正予算で県単独事業の導入により一部除伐を実施予定である。

問 平成31年に町民アンケート等で「あづみ野クラフトパーク振興計画」が策定され、多くの町民が期待している。しかし現地聞き取り調査したところ、20組中町民は一組もいなかった。アンケートでの期待感が満たされていないのでは。振興計画の推進は。現在の進捗状況、今後の方向性は。

答 コロナ禍で各種イベントは中止、延期している。今後は、ハーバルヘルスツーリズム事業との連携やドックランエリア創設に向けた調査研究を運営協議会に図り、振興計画が一步でも前に進むよう取り組んでいく。

問 クラフトパークは町の大切な資源、拠点である。日本一の美しい町づくりを公言している町長の思いは。

答 池田町を象徴する景観スポットであり、訪れる人に感動と癒しを与えている。運営協議会でご協議いただく中で、振興計画を進めている。



町の教育をどうするの

横澤はま 議員

問 子どもたちの学びの保障や心のケアが必要とした時、多様な専門職の人材確保や教員への支援はどのように考えているか。

答 常に現場に寄り添いながら、丁寧な連携を心がけてきた。これまで必要に応じてスクールカウンセラー等の専門家や多世代相談センターの支援を受ける体制はできている。今後も児童生徒と教職員の双方が安心できる安全な学校環境づくりに努めたい。

問 住民と共有した「地域の子は地域で育てる」丁寧な情報発信を。

答 情報を受け取る町民の方にできるかぎり合わせた発信方法を心がけ、町民懇談会などを通して、現場の生の声が直接伝わるよう工夫したい。

問 コロナ感染に伴う学校の危機管理体制の整備は。

答 「学校再開ガイドライン」を各学校で作成した。第1波における危機管理体制の反省点を見直し、今後、基本的な方向性を共有し、学校生活や教育の実態に即したものを想定しておくことが望ましい。もう少し時間を頂きたい。



町営バスがより利用しやすくなる取り組みを

大塚美秋 議員

町内巡回線について

問 1便あたり3〜4人の乗車人数で、5年間横ばい状態である。高齢化が進む中、1便当たりの利用者はもっと増加できると考えるが。

答 高齢者の人口は年々増えている状況である。今後も需要は高まり、利用者の増加を見込めるものと考ええる。

便利なフリー乗降について周知を

問 町内巡回線のフリー乗降は、近隣市町村でも例がない、とても便利なシステムである。もっと町民に知っていたいたために宣伝を。

答 時刻表への記載や車両に大きく表示をしているが、利用促進のためにも「広報いけだ」等で改めて周知していきたい。

問 高齢者の方が、最短な場所乗車できるためにバスがどの道を通るのか、もっと知っていただくことが必要と考えるが。

答 詳細路線図を作成し、ホームページに掲載した。また、健康福祉課と連携し詳細路線図の配布を行なっている。今

第6次総合計画の取り組み姿勢

問

人口減少対策でコロナ禍、地方志向、田舎暮らし志向が追い風となりつつある。「人を魅きつけるまちづくり」を唱えている町長の最も重視、推進している施策は。

答

住宅補助金制度、日本アルプス国際学院の学生数が人口減少にブレイキをかけている。子育て支援補助、移住定住政策等のさらなる推進を図る。

問

第6次総合計画は舊町長が作りあげたもの。リーダーシップで成果を出していかなければならない。町長が公言している決断力アップ、強いリーダーシップとは。

答

2期目は人口増、防災、健康長寿対策、農業、産業活性化等の推進、「まちづくり」事業、福祉事業に決断力とリーダーシップを十分に発揮していきたい。



北アルプスを望むクラフトパーク

問

学習の遅れの対応はどのように考えているか。

答

各学校の授業はすでに把握し、対策も検討している。行事等の見直しや夏休みの短縮等により、授業時間数を確保し、学習支援員やスクールサポーターの確保やオンライン学習の整備も進めたい。

新型コロナ対応に学校給食費の支援を

問

不安定な状況下に、給食費の負担を軽減し、安心・安全な給食が受けられるよう、給食費の助成ができないか。

答

これまでも、できるかぎりの支援を行っている。新型コロナ対応策を総合的に判断する中で、検討していく。



高瀬中学校

後も良い方法を考えて周知していきたい。

あづみ病院バス停留所の安全対策

問

あづみ病院には、1日に70回も町営バスが発着している。停留所は一般車両の駐停車が多く、バス乗務員全ての方から運行にあたり危険であると指摘を受けている。役場担当課は病院と対策協議をしているが、早期に改善するために、町長にも動いてほしいが。

答

この点の対策については、十分な改善をする交渉は必要である。いつでも伺って交渉したいと考える。

業務委託先との情報共有

問

現場を見ながら、業務委託先と有効な意見交換をして、より町民に喜ばれる町営バスにしていきたいが。

答

定例ではないが、必要に応じて打合わせは行なっている。担当者がバスに乗車する等、改善につなげていきたい。



フリー乗降できる町内巡回線バス



新型コロナウイルスに対応した避難所対策の強化を

薄井孝彦 議員

問

避難所の3密を防ぐ「分散避難（避難所・友人宅・在宅・車）」の勧めを。公報7月号で知らせていく。

答

各家庭で「マイタイムライン」（何時、どんな避難準備行動をするかを記入する）作成の取り組みのなかで、指定避難所への避難希望者の把握調査を。

答

マイタイムラインと併せ、検討する。

問

避難所環境の改善のため段ボールベッドがエアーマットの導入を。

答

エアーマットを導入していく。

高瀬川洪水防止に向け、堤防の強化を

問

高瀬川大橋下流の雪捨て場から豊町堤防にかけて堤防高水敷が深く削られており危険である（写真）。また、内鎌マレットゴルフ場上流の高水敷も削られており危険である。県に対策要望を。

答

堤防強化の事業実施を県に要望する。



新型コロナウイルス感染症の町の対策は

服部久子 議員

中小企業経済支援金はすべての事業所に

問

中小企業支援に一律10万円給付されるが、商工会加盟事業所に限られている。すべての事業所に町の責任で給付を。

答

スピード対応を求められ商工会加盟とした。国の第2次交付金で対象事業を研究する。

高齢者に定額給付金申請手続きの支援を

問

1人に一律10万円給付の申請について、高齢者に申請手続きの支援を。

答

申請が困難な世帯に、保健センター、地域包括センターの職員が電話や訪問などで、申請できるよう計画している。

国保短期保険証の交付をすべての対象者に

問

国保短期保険証の未交付の方は、3月12人だったが、コロナ感染症が不安でも医療費が心配で病院に行きづらい。保険証の交付を。

答

短期保険証は、滞納額増加を防ぐため、滞納者に交付できない。

直接生活支援になる施策の実施を



厳しい財政状況を改善する施策は

矢口 稔 議員

事務事業の早期見直しを

問

町の財政が予算上厳しさを増している。来年度は新型コロナウイルスの影響で、さらに税収が落ち込むことが予想される。行政改革の一環で第三者（町民）を交えた事務事業評価を行い、早期の見直しに着手すべきでは。

答

町民を交えた事務事業評価の実施は今のところ考えていない。まずは職員による既存事業の見直しに速やかに着手する。

なるべく早く予算編成方針を示して

問

来年度予算編成について9月の決算を待つことなく、なるべく早く来年度の予算編成方針を示すべきだが。

答

ここ数年、大型事業が重なり、財政調整基金の取り崩し額が増加している。来年度は、財政調整基金に頼らない予算組みの準備に着手する。全職員と共に既存事業を徹底的に見直し、予算削減に取り組む。

ピンチをチャンスに変える事業の推進を

内鎌霞堤からの逆流対策は

問 大町建設事務所の調査から、高瀬橋の水位が4m以上になると内鎌霞堤から逆流する恐れがある。当面の対策として、高瀬川の流路を川の真ん中にするよう掘削し、掘削土砂を霞堤の周りに置き、逆流を起きにくくする対策を県に要望を。

答 河川内整備の促進を県に要望していく。

町の財政調整基金が少ないなかで、来年度予算編成をどのように進めるか

答 全ジャンルで事務事業の見直しを行い、8月をめどに方向付けをし、議会・町民に相談していく。

問 町民・議会でも見直しができるように予算チェックシート（事業項目・予算額などを記載した用紙）の公開を。

いずれかの形で示していきたい。



高瀬川堤防危険か所
(高瀬川大橋から豊町堤防を望む)

問 安曇野市、松川村は、水道基本料の免除や支払い猶予の対応をしている。町も直接生活支援になる施策の実施を。

答 生活困窮者に対して、料金未払いによる機械的な給水停止をしていない。国の第2次補正で生活支援策を検討する。

休校期間は児童クラブの指導員の増員を

問 コロナ対策で休校をする場合、児童クラブの指導員の増員や、分散登校で子供の学習環境を保ち、気持ちが続く対応がとれないか。

答 今回は学校支援員や保育士が応援した。今後、人材確保に配慮する。休校した3か月の経験を反省し、感染しないことを第一に、心、体の健康を考える。

PCR検査を学校、保育園、介護施設に

問 市立大町総合病院に検査センターが開設された。第2波が来る前に介護施設、小中学校、保育所など集団感染の恐れがある対象者の検査を求めるが。

答 県内でPCR検査機関は4か所で、検査技師の不足で多くの検査は困難である。



PCR検査センターが
設置された
市立大町総合病院

問 新型コロナウイルスの影響で生活環境、物の考え方や価値観が変わってきた。このような時だからこそ、チャンスと捉え、事業の見直しをどのように考えているか。

答 お弁当の宅配サービス「いけ弁」やオンラインでの面接などを行った。都会から地方への移住志向が高まる傾向もある。各課で前向きに捉え、事業推進する。

楽しく学ぶ学校環境の再構築は

問 長期的な休校などの環境の変化に伴い、子どもや家庭も不安が残る。再構築をどのように考えているか。

答 学校、家庭、教育委員会相互の信頼を何より大切に、必要な情報やそれぞれの思いを丁寧に共有してきた。今後子ども達も安心安全に学べる学校の姿を目指しつつ、オンライン学習等の未来志向の学びの環境づくりにも積極的に取り組む。



各前年度末財政調整基金の推移

シリーズ 町民の 皆さんに聞く

— 第15回 —



北條由美子さん（四丁目）

活動内容

略歴・活動内容

1958年（62歳）松川村生まれ。
元町防災行政無線アナウンサー。
趣味は料理、手芸。現在はカフェ&レスト
ラン「野のかおり」代表。

カフェ&レストラン「野のかおり」
営業時間 午前11時から午後3時 不定休
電話番号 0261-85-4226



誰でも知っている私の声

6月27日池田町ハーブセンター南ど
なりにオープンしたカフェ&レストラ
ン「野のかおり」の北條由美子と申しま
す。以前防災行政無線のアナウンサー
をしておりましてので、私の声をご存
じの方も多いと思います。

広津に嫁いで

39年前、隣の松川村から養豚を営む
広津の北條家に嫁いできました。実家
は専業農家でしたので農作業が忙しい
時は、学校から直接田んぼに来るよう
に言われ、母が用意してくれた手作り
のおやつを食べて手伝いをしました。ど
んなに忙しくても一生懸命料理を作っ
てくれる母に感謝しつつ、祖父母のいる
家庭に憧れていました。

母から学んだ食文化の継承

母は「松川村の行事食と伝えたい料
理」という本の編集に携わりました。私
も母のような活動をしたいたいと思い、農
村生活マイスター研修を受講しました。
その時の先輩マイスターが所属する力
モミールの会が経営していた「ピストロ
カモミール」が後継者の育成が出来な
いまま閉店する事を知りました。人口
減少と高齢化が進む中で、農産物の生
産はもとより食文化の伝承や食育教育
を次の世代に繋げていく事は難しいで
す。移動販売による買い物支援や親子
を対象とした行事食作り等は地域に大
きく貢献していました。

「野のかおり」の立ち上げ

カモミールの会が築き守って来たも
のを受け継がなければと思い友人の太

田さんと「野のかおり」を立ち上げまし
た。私たちの理念は、農業を愛する人
達が育てる農畜産物をふんだんに使い
安全・安心・美味しさを追求すること
で地産地消を推進していきます。

みんなに食べてほしい「ピタパン」

お薦めは長野県産の小麦粉を使った
手作りパンに信州吟醸豚のハンバーグ
とコーストポー
ク、池田産の野菜
や卵をたっぷり
サンドした「ピタ
パン」です。是非
食べてみて下さい。



ピタパン

ハーブセンター周辺が町の賑わいの
拠点となり、子育て中のお母さん達も
安心して働ける環境を整えていければ
と思っています。

議会を傍聴して

荻窪 登さん（五丁目）

初めて議会を傍聴しました。町
営バス利用の一般質問の中で、「担
当者が実際に乗車してみる」とあ
りました。が、「現場・現物・現実」
の三現主義は大切なことだと思
います。町長、課長も前向きな回答
をされていました。

編集後記

新型コロナウイルス感染症が世界に拡
大し、人々を恐れさせている状況を誰が
予想したでしょうか。近年は地球温暖化
による気候変動で、毎年日本は自然災害
に脅かされていましたが、感染症で危険
を意識しながら生活するのは、私は初め
ての経験です。

6月議会は、コロナ対策中心の議会に
なりました。仕事を失う方、休業を余儀
なくされる方など、生活に不安を感じて
過ごさなければならぬ状況が生まれて
います。町は一人一人の声を聴き、少しで
も不安が取り除かれる施策を実施しなけ
ればなりません。議員はしっかり住民の
声を届けていかなければと思っています。

（服部久子）

議会報編集特別委員会

委員長 矢口 稔

副委員長 中山 眞

委員 松野 亮子 大出 美晴

服部 久子 那須 博天

次回議会だより発行は令和2年10月28日（水）を予定しています。ぜひ、御覧ください。